

## 平成25年度を振り返って

今年度も各大会、各行事を無事終了することができました。県体協、県協会・各地方協会・各高校顧問の先生方、補助員の高校生の方々の御協力のおかげだと感謝しております。厚くお礼申し上げます。

今年は、県大会に男子25チーム、女子56チーム（県総体時）が出場しました。しかし、毎年のように部員不足や学校内の統廃合のために廃部や休部になるチームが増え続けています。チーム自体はまだあるけれども部員数自体は減少している学校も多数あります。

全国高校総体（平成28年度）の中国地区ブロック開催を控え、今まで以上に小中学校との連携をより深め普及・活性化を図っていきたいと思います。

### 1. 県内大会

男子は、中国大会予選、山口県総体、選手権大会予選の3大会において高川学園が優勝を収めた。平成26年2月に行われた新人大会は、前年よりメンバーが固定している宇部商業が高川学園を一歩リードし3年ぶりの優勝を収めた。26年度は、粗削りでまだ単純なミス等もあるがパワーのある大型選手を有する宇部工業や長門、1年生チームの青嶺などが新一年を加えた後どのようにレベルアップしていくか楽しみである。

上位チーム以外にセカンド4では、防府・徳山・岩国・山口などが入賞した。

女子は、今年も誠英がすべての大会において優勝を収めた。新人大会では、山口県鴻城に第1セットを奪われ会場に緊張感が張りつめた。しかし、第2セットの序盤リードすると落ち着きを取り戻して逆転勝ちを収めた。また、徳山商工が、4年前の廃部の危機を乗り越え歓喜の中国新人大会初出場の切符を手にした。

この他の3大会では、下関短大付が山口県鴻城と常にNo.2争いを繰り広げ各大会を盛り上げた。

26年度も身長差をものともせず独自の戦法で暴れまくる防府西や1年生主体ながら堅守からコンビバレーを展開する宇部商業、近年大型化し攻撃バレーを展開する岩国商業や柳井学園などを中心に素晴らしい試合を見せてくれると思われる。

セカンド4において防府・西京・防府商工・柳井学園などが入賞を果たした。

年間成績は、

男子 ①高川学園②宇部商業③長門④青嶺⑤防府商工⑥下関国際⑦宇部工業⑧徳山高専

女子 ①誠英②山口県鴻城③下関短大付属④防府西⑤徳山商工⑥萩商工⑦岩国商業⑧宇部商業となった。

### 2. 全国大会

総体予選、全日本選手権大会予選の2大会とも女子・誠英、男子・高川学園が優勝を飾り全国大会に出場した。

#### (1) 全国高校総体

男子は、福岡県飯塚市で女子は、福岡県久留米市で開催された。

##### 【男子】

高川学園（2年連続3回目）は、予選グループ戦で都城工業（宮崎）と対戦した。平均身長差を運動量で補い大接戦（25-20, 23-25, 25-21）を制して初のグループ戦突破を果たした。決勝トーナメントは、2回戦からの出場で都城工業を下して勝ち上がった清風（大阪）と対戦した。高川学園は、大空・徳重を中心に技ありのスパイクで健闘したが、清風の高さを封じることができずに敗退した。

### 【女子】

誠英（24年連続34回目）は、春高で準優勝のポイントにより第3シードとなり決勝トーナメントからの出場となった。2回戦の相手は、近年激戦区大阪から全国大会に進出してくるようになった金欄会である。金欄会は、予選グループ戦で強豪九州文化学園（長崎）を苦しめ、決勝トーナメント1回戦では、総体常連校の氷上（兵庫）を退けてきた。一方誠英は、この試合が、今大会初戦となり厳しい戦いが予想された。試合は、初戦の硬さがみられる誠英に対して堅いディフェンスからコースを突いたスパイクで主導権を奪った金欄会が、リードを保ちストレートで勝利を収めた。

## （2）国民体育大会

男女とも、東京都で開催された。女子は、誠英の単独チームで出場したが、男子は、ブロック予選で惜敗した。

### 【女子】

山口県は、2回戦長崎県（九州文化学園）と対戦した。前日の試合を分析して細かく指示が出された序盤は、互角の展開で進んでいった。しかし、中盤以降は、高さや攻撃力に勝る長崎県に好スパイクやサービスエースを決められ徐々に差をつけられストレートで敗退した。

## （3）全日本選手権大会

春高バレーがリニューアルし、4回目の開催となった。

### 【男子】

2回戦地元第3代表ながら高校屈指のアタッカー柳田を擁する東洋（東京）と対戦した。東洋は、関東の強豪校らしくスピードとパワー兼ね備えたチームであった。第1セットからサーブで崩され主導権を奪われると単調になった攻撃をブロックされる苦しい試合運びが続いた。東洋の攻撃を拾うことができずにリードを許すとなかなか連続得点を奪えず、ストレートで敗れた。

### 【女子】

誠英は、2回戦高校総体で敗れた金欄会（大阪）との再戦となった。前回攻撃力不足で敗れた誠英は、WSに松落、浴田やサウスポー佐藤などを起用して攻撃陣の強化を図り臨んだ。第1セットは、キャプテン藪田を中心に攻守に粘りを見せた誠英が、先取した。しかし、総体4強の金欄会は、第2、3セットとも誠英の僅かな隙を見逃さず連続得点し主導権を握ると2年生サウスポーの活躍で誠英を振り切った。

## （4）ビーチバレー

6月に菊ヶ浜海水浴場（萩市）で行われた県予選を勝ち抜いた男女1組ずつが出場した。

### 【男子】

第12回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会（大阪）に2年連続で坂井・久光組（山口農業）が出場した。予選グループ戦、岩崎・篠崎組（千葉）にストレート負けを喫したが、敗者復活戦で後藤・佐藤組（三重）に快勝して決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメントでは、小林・戸内（鹿兒島）と対戦したが、第2セット粘りを見せるものの0(10-21, 18-21)2で敗退した。

### 【女子】

ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会（愛媛）に久保・増野組（徳山商工）が出場した。予選グループ戦で川原・金田（群馬）と対戦し、フルセット(21-18, 19-21, 15-8)の末勝利を収め決勝トーナメントに進出したが、中居・新久保組（愛媛）の地元組に(18-21, 21-14, 8-15)のフルセットで惜敗した。

### 3. 中国大会

#### (1) 中国大会

5月に鳥取市のコココーラ・ウエストアリーナで開催された。

男子は、高川学園・宇部商業・長門・下関国際、女子は、誠英・山口県鴻城・下関短大付・防府西が出場した。

#### 【男子】

下関国際は、1回戦鳥取東（鳥取）と対戦し第1セットは先取したものの第2セット以降攻撃のミスが響き惜敗した。長門は、玉野光南（岡山）と対戦した第1セットは、鈴木・原の活躍で粘ったが、第2セットは、サーブカットを崩され玉野光南のコンビ攻撃を防ぐことができずにストレート負けに終わった。宇部商業は、松江南の攻撃に苦しめられながらも逆転で勝利すると米子工（鳥取）を下して準決勝に進んだ。準決勝の岡山東商（岡山）戦は、第1セットリードを守りきれずに奪われると勢いに乗った岡山東商の猛攻を凌ぐことができずに敗れた。高川学園は、崇徳（広島）、安来（島根）の広島、岡山2県の1位をフルセットで退け決勝に進出した。決勝の岡山東商戦も徳重、大空のサイド攻撃や種田の速攻などで互角の展開で進んでいった。しかし、前日からの接戦でやや疲れの見え始めた両エースのスパイクを岡山東商が、ブロックのワンタッチを上手く得点につなぎ逃げ切った。

#### 【女子】

山口県鴻城は、就実（岡山）と対戦した。スタメンに1年生を5人起用しての戦いは、スピードのある攻撃で高さのある終日を苦しめたが、ストレートで敗れた。下関短大付は、大社（島根）と対戦した。1年生2名を入れての新しい布陣はなかなかチー力が安定せず、第2セットを大井・水江の活躍で奪い返したが、フルセットで敗れた。防府西は、安来（島根）のロングサーブに苦しめられ第1セットを奪われた。第2セットは、サーブカットを修正し、互角の展開で進んだが、終盤に安来のエース、杉原に打点の高い強烈なスパイクを連続で決められ惜敗した。誠英は、安田女子（広島）、江津（島根）、就実（岡山）をストレートで下し、決勝に進出した。決勝の進徳女子（広島）戦は、第1セット中盤までは、進徳女子のパワーに苦しめられたが、練習で培われた抜群の対応力で徐々にその差を埋め逆転で奪うと第2セットは、常に序盤のリードを保ちながら勝利をおさめ3年連続18回目の優勝を飾った。

#### (2) 中国新人大会

2月に広島県総合体育館、東区スポーツセンターで開催された。

今年度より一昨年実施した各県男女4チーム出場により開催された。した。男子は、宇部商業、高川学園、青嶺、宇部工業、女子は、誠英、山口県鴻城、下関短大付属、徳山商工が出場した。

#### 【男子】

青嶺は、松江工業（島根）・神辺旭（広島）のパワーに屈し、宇部工業は、2年生が修学旅行先から広島入りをして臨んだが、本来の調子を出すことができずに玉野光南（岡山）、祇園北（広島）に敗れグループ戦敗退に終わった。高川学園は、金光学園（岡山）にフルセットで勝利すると高陽（広島）をストレートで下し、ブロック決勝に進んだ。ブロック決勝は、崇徳（広島）に惜敗したものの5-7位決定戦で松江工業を下し5位に入賞した。宇部商業は、倉敷商業（岡山）・盈進（広島）・安来（島根）を下し、準決勝に進んだ。準決勝では、玉野光南にレセプションを崩され簡単に第1セットを奪われた。第2セットは、接戦に持ち込んだが、ストレートで敗れ3位に終わった。

#### 【女子】

初出場の徳山商工は、日頃の試合では、見せないようなミスが目立ち大社（島根1位）にフルセット末敗れたが、銀河学院（広島）には、フルセットながら勝利を収めた。下関短大付は、故障で予選不出場の安本が復帰し期待されたが、岡山理大附の巧みなプレーの前に流れを引き寄せることができずに敗れた。気持ちを切り替え臨んだ神辺旭（広島）戦は、3セットともに2点差の大接戦の末勝利を収めた。山口県鴻城は、開星（島根）・広島桜ヶ丘を下してグループ戦1位通過でブロック決勝に進んだ。決勝は、安田女子（広島）と対戦した。お互い堅守からのコンビ攻撃を持ち味とし

たチーム同士の戦いは、わずかな差で安田女子に軍配が上がった。5-7位決定戦は、市立沼田を相手に終始リードを保ちストレートで勝利を収めた。誠英は、グループ戦で広島翔洋、安来(広島)、就実(岡山)に勝利して準決勝に進んだ。準決勝は、鳥取東に快勝して決勝に進んだ。決勝は、安田女子との対戦となった。第1セット安田女子のAクイックからフェイントを決められ劣勢に回る。中盤追いつくが、20点以降のラリーを競り負けセットを失う。第2セットも勢いに乗る安田女子のサイド攻撃を止めることができずにストレートで敗れ連続優勝の記録は、6でストップした。

---

## 平成26年度登録について

- 1・日本協会登録（個人登録） 選手一人につき1, 200円  
入金先は、日本バレーボール協会の方をお願いします。  
山口県高体連バレーボール専門部加入コード **323500041187** (2014年度)
- 2・平成26年度専門部登録負担金（山口県協会・全国専門部・山口県専門部）  
1チーム24,000円を4月30日（水）までに、下記口座に振り込んでください。  
さい。
  - ・高等専門学校は、県協会登録費用（12,000円）を除いた12,000円を振り込んでください。

振込先 **西京銀行 防府支店（普）0410770**  
**山口県高体連バレーボール専門部 委員長 おおしたひろし 天下浩司**

注意 : 略式校名をお願いします。個人名での振り込みはしないで下さい。